

(別紙)

在欧州大学等拠点プラットフォームについて  
～趣意書～

2024年7月2日(初版)制定

## 1. 目的

このプラットフォームは、日本における学術研究・教育をはじめとする諸活動の国際展開を高めるため、主に欧州に拠点を持つ日本の大学・学術機関等による、日頃からの情報交換や相互支援等を目的とした、緩やかに集まる場・機会です。あくまで「緩やかで、無理なく持続可能であること」に重きを置き、当該プラットフォームの活動が参加機関等に負担・業務がアドオンしないこととします。

英語名称は「Fika-JA : Fostering International Knowledge Alliance for Japanese Academia」です。Fika(フィーカ)はスウェーデン語で家族や仕事仲間、友人などと甘いものを食べながらコーヒーを飲む日常的な習慣を指します。このプラットフォームがFikaのように、関係者の皆様の気軽なコミュニケーションの場となることを願っています。

## 2. 対象

多様なバックグラウンドを持つ関係者が自由度・柔軟性が高く参加できるよう次のとおり参加範囲と単位を設けますが、実情に応じて適宜、定義等を見直します。

### (1) 範囲

- 欧州に拠点(海外オフィス、研究教育拠点等)を持つ日本の大学・学術機関等
- 欧州での活動を行う(もしくは検討している)日本の大学・学術機関等
- その他日本と欧州の連携を高めるために当該プラットフォームでの交流を希望する者

### (2) 単位

#### ①組織としての参加

例：各関係機関の欧州現地担当者が業務の一環として活動に参加するため、所属組織の同意を得てプラットフォームに参加する場合等。組織単位(大学、部局、海外オフィス等)は問わず、各所属元に了承を得られる単位で参加が可能。

#### ②個人としての参加

例：各関係機関の教員・専門職等、自らの判断・エフォート管理によりプラットフォームに参加する場合。その他、業務内外の別を問わず個人としてプラットフォームへの参加を希望する場合。

### (3) 補足

- 参加者の国籍等は問いませんが、プラットフォーム内での日常的なコミュニケーションは日本語で行われることを想定します。
- プラットフォームでの交流・活動に当たっては次のルールを守り、参加者どうしが相

手を尊重し協同することにご協力ください。万が一、反する行為があった場合には退会をお願いする可能性があります。

- a) 各種営業行為・宗教活動等の勧誘の禁止
- b) 差別・誹謗中傷等の行為、公序良俗に反する言動の禁止
- c) 個人のプライバシーの順守

### 3. 活動

下記はあくまで活動の一例です。当該プラットフォーム参加者間の日頃の「対話」を重視し、「緩やかで、無理なく持続可能」な活動を行うこととします。また、各機会への参加は強制されるものではなく、都度、緩やかに参加できる枠組みとします。

- ① オンラインツール等も活用した、日頃からの情報交換・相互による相談等。例えば、月1回程度のオンライン情報交換会（拠点運営における課題をともに共有・相談する場等）や、Teams・LinkedIn等を介したコミュニケーションが想定できる。
- ② 上記①を行う中で、プラットフォーム会員間の自発的なコミュニケーションが生まれ、その結果、例えば複数機関が連携して現地イベント等の実施が見込める場合には、当該イベント等のプラットフォームとしての可能な範囲での協力。例えば、プラットフォームでの名義後援等支援、世話人（後述）による関係機関への告知作業等事務的支援が想定できる。

【補足】当該プラットフォームは運営に係る参加費（年会費）を徴収する類のものではないことから、当該プラットフォーム活動内のコミュニケーションを通じてイベント等の実施が具体的に発意された際には、趣旨に賛同する機関等が自ら経費・人的貢献を行うこととします。

### 4. 運営（世話人）

九州大学ストックホルム・リエゾンオフィス（当該大学欧州拠点）が当該プラットフォームの活動に係る下記の事務手続きを取りまとめることとします。

- 参加機関・担当者の連絡先メールアドレス等の管理
- 情報交換機会等の日程調整、案内をはじめとする事務的対応

### 5. その他

- プラットフォームの設置は2024年8月を目途とし、順次、参加者を募ることとします（取りまとめ方法等は別途、世話人が定める）。
- 本趣意書を含めた当該プラットフォームの運営等について必要な事項は、実際のプラットフォーム参加者にて協議・検討し、更新することとします。

以上